

# R/C LEGENDS

## 組立取扱説明書

**BoLINK**



BoLINKのR/C LEGENDSのキットをお買い上げいただきましてありがとうございます。この車はR/Cレースの世界に、気軽に楽しめる分野を作ろうと開発されました。

600 Racing, Inc. の作ったフルサイズのLEGENDSカーと同じようにこの車はとてもシンプルではありますが、大変強度のある車でもあり、何時間ものRC走行が楽しみ、リペアやセッティングに手間がかりません。

このキットには2チャンネルの送信機と電子式のアンプが必要です。送信機の中にはサーボやアンプがついているものもあります。

また、ギアをダメージから守るためにサーボセーバーをステアリングサーボに使うようお勧め致します。一番お勧めするのはKimbrough社のものでこれはほとんどのブランドのサーボに合うようになっています。

このキットの組立は大変シンプルですが、本文の中には大切なステップがあります。取扱説明書をよく読んで写真や図を参照してください。

### ツール

このキットにはソケットスクリューに合う2種類のヘックスレンチ (0.050インチ、3/32インチ) が付属しております。他に小さいペンチを1つ、1/4インチナットドライバー、7/16インチのナットドライバーまたはレンチ、ホビーナイフをご用意ください。

# Bo link RC電動カー取扱上のご注意 \*ご使用者が未成年の方の場合は保護者の方もお読みください。

RC電動カーは高性能モーターとラジコン専用バッテリーを使用するため、時速50<sup>km</sup>以上のスピードが出ます。またモーター、ラジコン専用バッテリーは大電流が流れ、高速回転しますので専門の知識と取扱方法が必要です。性能を100%発揮させ、また危険を防止し周囲に迷惑を掛けないためにも、以下のご注意をお守り下さい。

## キットの組み立て

付属の組立説明書を良く読み組立手順と組立方法をよく理解してから説明通りに組立て下さい。特に高速で回転するモーターやギヤ類、走行中に振動を受けるタイヤやボディ、バッテリー等は確実に取付けて下さい。また、組立済みキットの場合も走行前に必ず各部の確実な組立を確認して下さい。組立説明書を見て理解できない部分がある場合は、販売店や弊社におたずね下さい。走行前に下記の注意を必ずお読み下さい。

## ⚠危険 走行場所

基本的にはRCカー専用のコース等で走行して下さい。専用コース以外で走行する場合は、思わぬ事故で人がケガをする場合があります。道路では決して走らせてはいけません。RC模型を禁止している場所(公園、広場等)で走らせてはいけません。家の中や広くない場所で走らせてはいけません。夜間また早朝等、走行音が騒音になるような時間に走らせてはいけません。人がいる建物(住宅、病院、学校等全て)のそばや、まわりに人がいる場所(公園等)で走らせてはいけません。その他、RCカーを走行することにより、事故やケガが起きたり、まわりに迷惑となるような可能性がある状況では決して走らせてはいけません。

## ⚠危険 走行前の注意

はじめに必ずモーター、ラジコン専用バッテリー、RCプロポの各メーカーの取扱説明書及び注意書をよく読み、安全な取扱方法を理解して下さい。モーターは組立説明書で指定した、RC電動カー専用の物をご使用ください。決してその他のモーターを使用してはいけません。バッテリーも組立説明書で指定した、RC電動カー専用の物(POWERSP-1500等)を使用し、その他のバッテリー等を使用してはいけません。RC用モーターは小型でも強力なパワーがあります。シャーシ等に固定せずに不用意に回転させることは危険です。ラジコン専用バッテリーは小型ですが、内部抵抗が低く大電流(数十アンペア)が流れるため、ショート等に注意して取り扱わないと思わぬ事故になる場合があります。初めての方は必ず販売店やベテランの方に指導を受けて下さい。また、バッテリーは充電中発熱します。充電中は必ずそばに人が付き、周囲に燃えやすい物がない場所で行なってください。また子供だけで充電してはいけません。モーター及びバッテリーは走行中と停止後は、部分的に高温になっており、触れるとヤケドする可能性がありますので充分気を付けて下さい。走行が終了したら、送受信機の誤操作やスイッチの切り忘れ等による模型の暴走等を防ぎ、ラジコン専用バッテリーを安全管理するため、必ず模型からバッテリーを外して、別の場所に保管してください。モーター回転中は各ギヤ、タイヤ等が高速で回転しており、指に触れたりするとケガをしますから充分注意して下さい。各部のセッティングを行う場合に、モーターを回転させる場合は、安全のために必ずメンテナンス用スタンドの上で行ってください。

## ⚠危険 走行時の注意

走行前に以下の点を再度確認します。  
送信機の電池が充分にあり、またラジコン専用バッテリーが確実に充電されているか確認します。  
モーターのピニオンギヤとメインギヤが、無理なく確実に噛み合い、そしてスムーズに回る位置でモーターがマウントに固定してあるか確認します。  
プロポセッティングが確実に取り付けてあり、また正しく配線されているか確認します。  
ステアリング・サーボのリンケージが正しく接続してあるか(左右が逆になっていないか)確認します。  
スピードコントロール・アンプのニュートラル・ポイント調整と、ハイ・ポイント調整が正しく設定してあるか確認します。調整がずれていると、電源スイッチONと同時にモーターが高回転になったり、模型が暴走する危険があります。  
周囲でラジコン模型をやっていないか確認し、もしいた場合は自分のプロポのバンドと同じか確認して下さい。同じ場合は同時に走行してはいけません。どちらもコントロール不能になり大変危険です。仲間同士で走らせる場合もバンドをよく確認して下さい。

走行は以下の手順で行なって下さい。

送信機のスイッチを入れます。  
受信機のスイッチを入れます。  
送信機のトリムを調整し、コントロール・アンプのニュートラルとステアリングのニュートラルをもう一度確認します。  
周囲の安全をよく確認し、模型をスタートして下さい。(始めはゆっくり走行し、異常がないか確認します)

走行をやめる手順

ラジコン専用バッテリーを完全に使いきる前に走行を止めて下さい。  
受信機のスイッチを切ります。  
送信機のスイッチを切ります。

走行後は速やかにラジコン専用バッテリーを模型から取り外して下さい。  
走行した後は毎回必ず下記の各部をチェックし、消耗したり、破損した部品を交換して下さい。  
これを怠ると走行中に突然コントロールを失い、思わぬ事故が起きる場合があります。大変危険です。

模型全体の組立ビスのゆるみ	モーターの取付のゆるみ
プロポのリンケージ、及びアンプの調整。	バッテリーコネクターの劣化
ギヤ類の欠けや破損	各コードの接続部分
プロポ用電池の残量	ホイル、タイヤの取付
	ボディの破損や亀裂

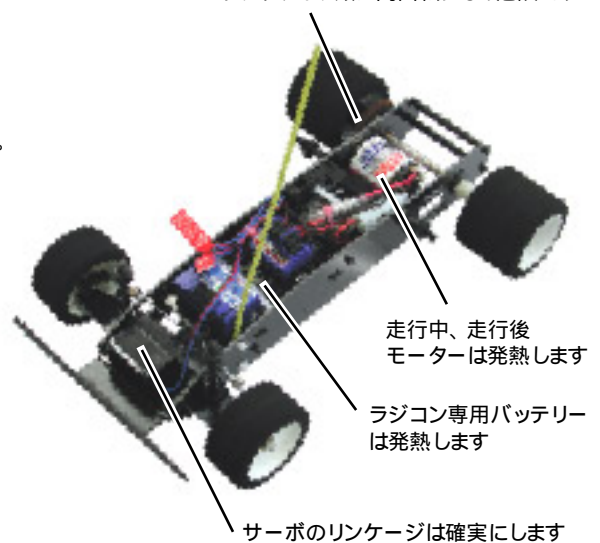
## ⚠危険 その他注意

RCモデルは小さな子供が興味を示しやすく、さわりたいくなりますから、ご使用されない時は子供や幼児の目の届かない安全な場所に保管して下さい。模型の工作や走行には種々の工具や刃物が必要です。また模型の部品にはバリが残っているものや、手を切りそうな素材もありますから、無理をせずに充分に気を付けて作業をして下さい。

本商品を改造、その他組立説明書および本注意書に反した使用による、故障や事故等につきましては保証いたしかねますのでご了承ください。

\*万一、製品に不良や欠品等がございましたら、無理に加工等されずに、購入販売店または、弊社サービス部へご連絡下さい。

ギヤやタイヤ類は高回転になり危険です

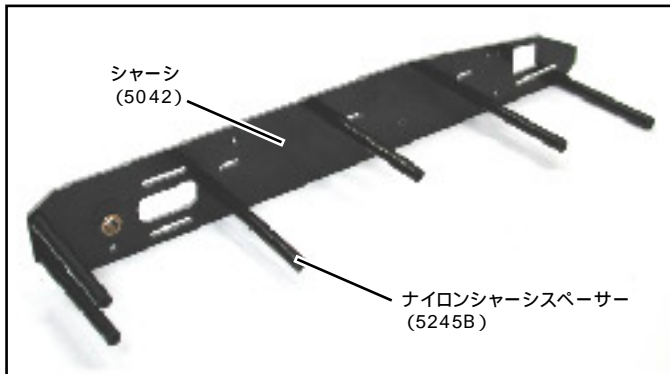
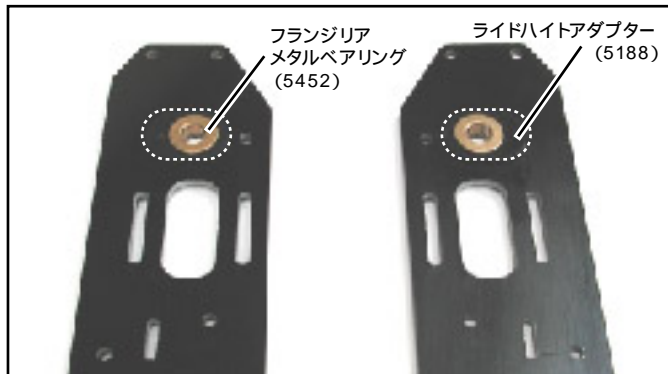


\*アンプの調整や取付けは確実にしてください。

# 組立て

## ステップ 1

BAG 1L を開けて中の BAG 1L を開けて下さい。  
 ライドライトアダプター (5188)、フランジリア  
 メタルベアリング (5452)を左右のシャーシ (5042)に押し込んで下さい。メタル  
 ベアリングを押し込んだ側が外側になります。ライドライトアダ  
 プターを上下入れ替えることで車高が2段階で選択できます。  
 (両側とも同じ向き「高さ」であることを確認してください。)

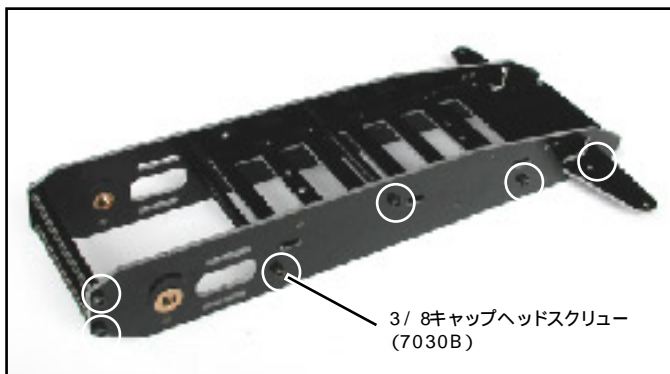
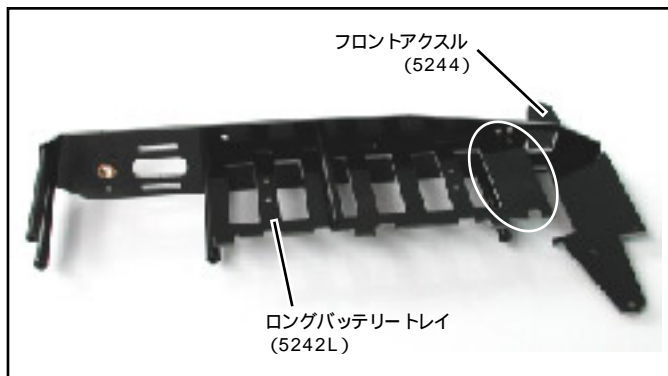


## ステップ 2

左シャーシに3/8キャップヘッドスクリュー (7030B)を使って  
 ナイロンシャーシスペーサー (5245B)を6本取り付けて下さい。  
 ペンチ等でナイロンシャーシスペーサーを支えながらスクリュー  
 を締めますと作業しやすいです。

## ステップ 3

フロントアクスル (5244)とロングバッテリートレイ (5242L)を  
 左シャーシに挿入します。バッテリートレイの端の幅広部分が前  
 方になります。(写真参照)

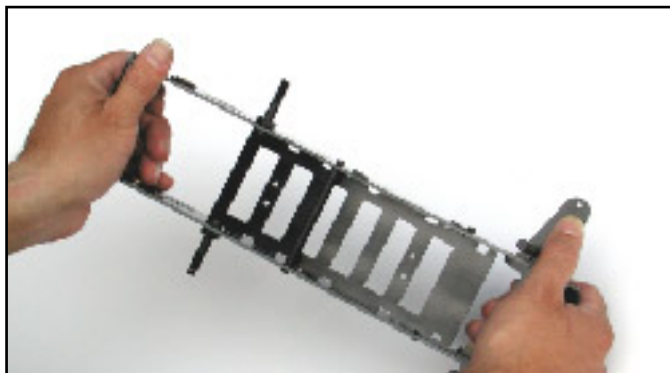
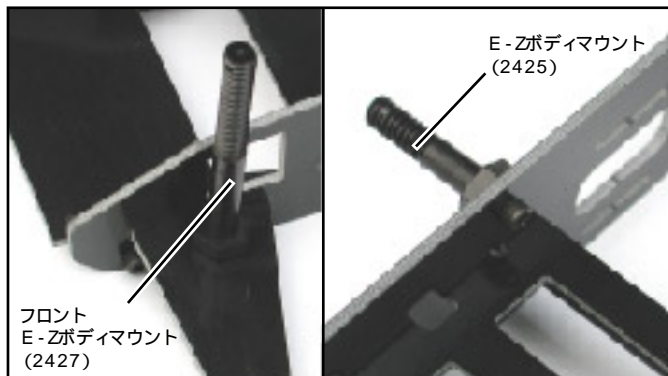


## ステップ 4

右シャーシをフロントアクスルとロングバッテリートレイに取り付  
 けます。そして3/8キャップヘッドスクリュー (7030B)を使っ  
 て6本のナイロンシャーシスペーサーに取り付けます。

## ステップ 5

長いフロントE-Zボディマウント(2427)をフロントアクスルプ  
 レートに、そして短いE-Zボディマウント(2425)をシャーシの  
 側面に3/8キャップヘッドスクリューを使って取り付けてくださ  
 い(リアバッテリープレートタブの上に)。

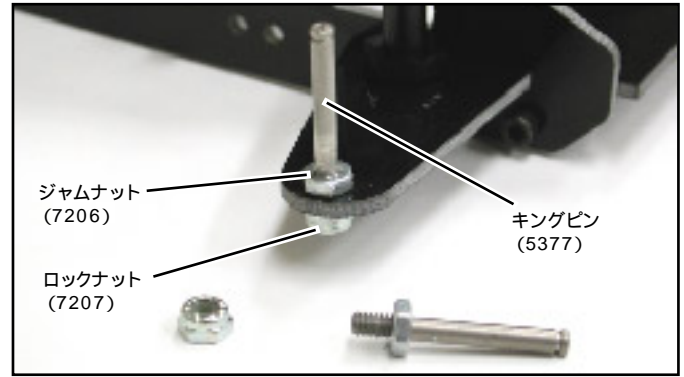
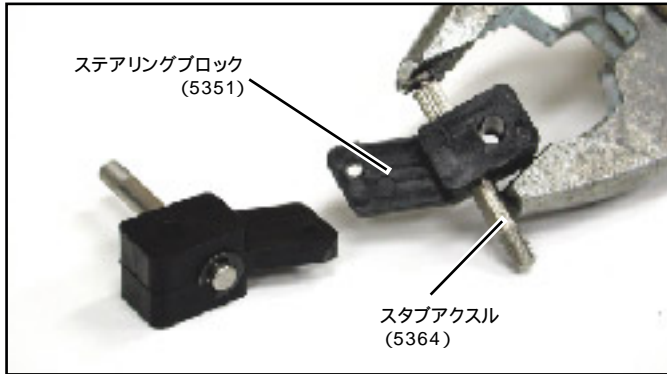


## ステップ 6

シャーシを平らなところにおいてプレートがまっすぐかチェッ  
 クして下さい。シャーシを取り上げまっすぐになるようひねって  
 みて、そしてもう一度チェックして下さい。平らになるまで続  
 けます。

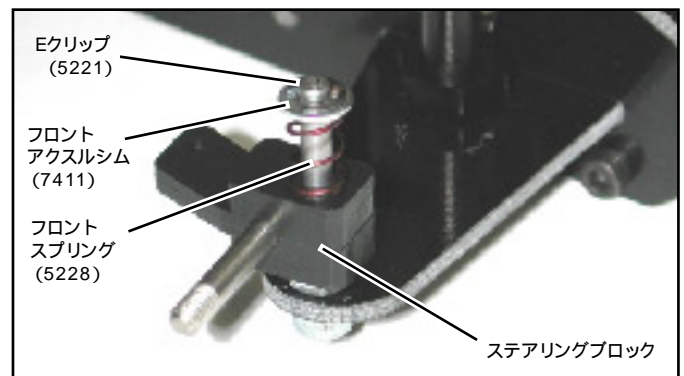
## ステップ 7

BAG 1L2 を開けてください。  
 ジャムナット (7206) をそれぞれキングピン (5377) につけて、  
 そしてそれぞれフロントアクスルに取り付けてください。ロックナ  
 ット (7207) を加えてしっかり締めつけます。余分に入っている  
 ナットはフロントホイールを留めるのに使用します。



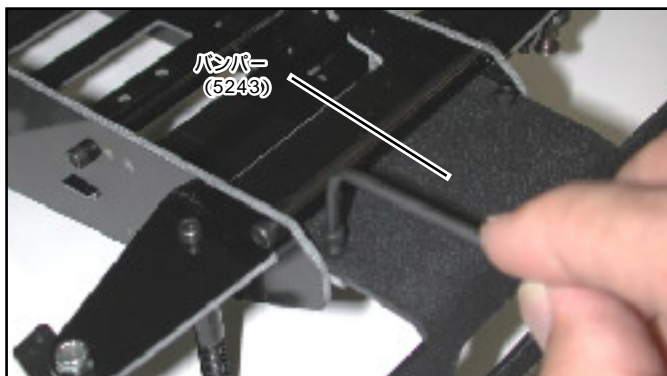
## ステップ 8

スタブアクスル (5364) を、それぞれのステアリングブロック (5351) に押し込み、Eクリップ (5221) で留めて下さい。ステア  
 リングブロックとアクスルの方向に気を付けて下さい (写真参照)。



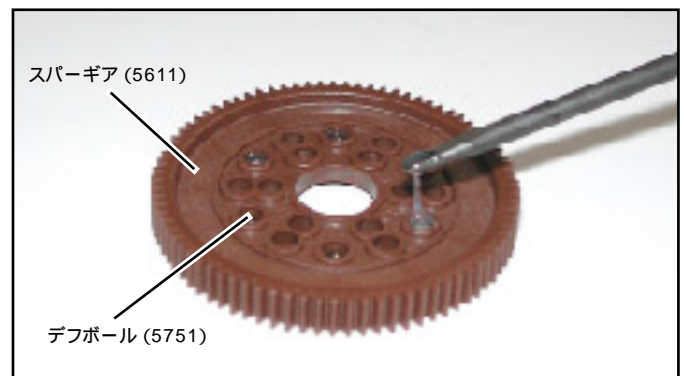
## ステップ 9

キングピンにオイルかシリコン潤滑油を注してから、ステアリン  
 グブロック、フロントスプリング (5228)、フロントアクスルシム (7411) としてEクリップ (5221) をそれぞれ付けて下さい。



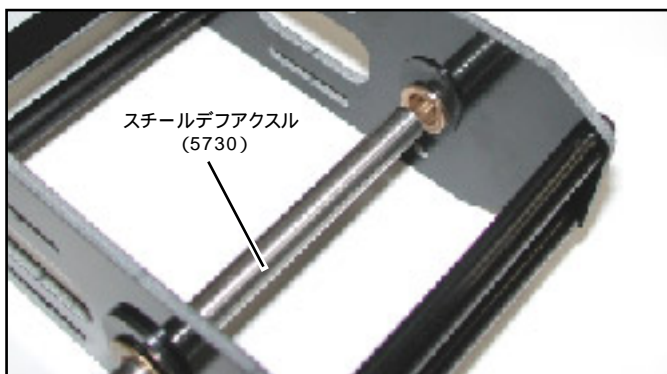
## ステップ 10

BAG 1L3 を開けてください。  
 バンパー (5243) をフロントアクスルの下に差し込んで下さい。  
 そして同じ袋に入っている2つの1/4キャップヘッドスクリュー (7025) で留めてください。



## ステップ 11

BAG 2L を開け、BAG 2L1 を開けてください。  
 デフボール (5751) をスパーギア (5611) の外側の列の穴に1つ  
 おきに入れてください。それぞれのボールにデフループ (別売り)  
 を少量注してください。

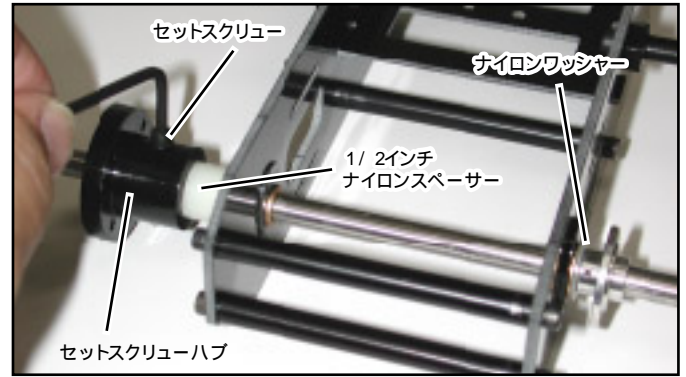
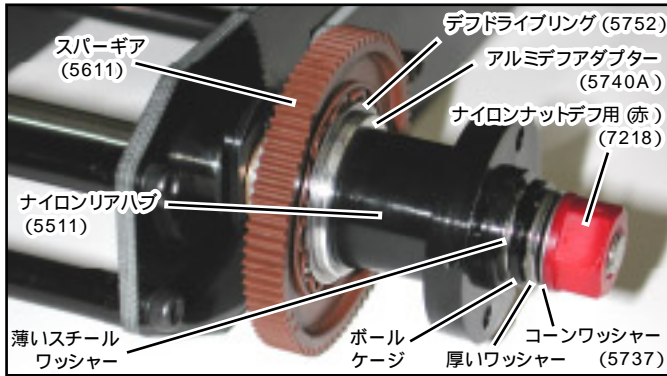


## ステップ 12

スチールデフアクスル (5730) をシャーシの両メタルベアリング  
 に通してアクスルがスムーズに回るか確認してください。きつい  
 場合はまずアクスルをメタルベアリング1つで付けてみて揃うよ  
 うに少しひねってみて下さい。それでもきつい様でしたら、メタ  
 ルベアリングに1/4インチドリルを通して下さい。

## ステップ 13

スチールデフアクスルの長いほうにナイロンアクスルシム (7416) を1つ通し、シャフトをシャーシに取り付けます。そしてナイロンアクスルスペーサー (5245C)を通しナイロンリアハブ (3511)をセットします。アクスルにほんの少し遊びを持たせ、1/4セットスクリュー (7160)を均等に締めます。

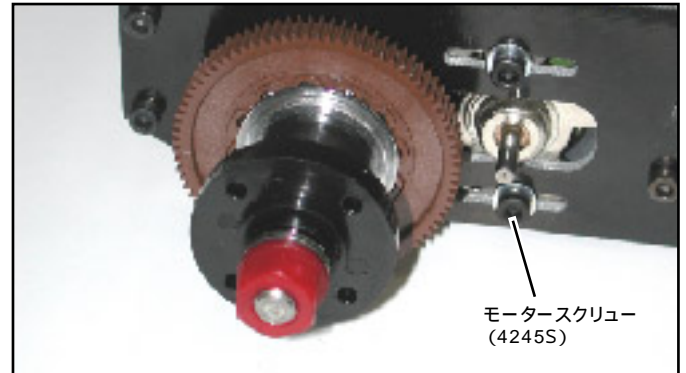
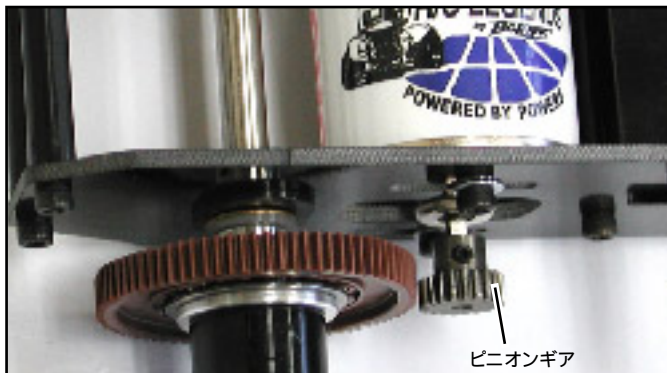


## ステップ 14

デフドライブリング (5752)、スーパーギア (5611)、デフドライブリング (5752)、アルミデフアダプター (5740A)、ナイロンリアハブ (3511)、薄いスチールワッシャー、ボールケージ、厚いワッシャー、コーンワッシャー (5737)そしてナイロナットデフ用 (赤) (7218)の順番にデフを組み立てます。両ハブを持ってギアが回らなくなる程度までナットを締めてください。

## ステップ 15

BAG 3L を開け BAG 3L 1を開けます  
モータースクリュー (4245S)とワッシャーでモーター (別売り)を取り付けてください。注意 :マブチの540モーターを使用する場合は、モーター取付口が若干狭いのでヤスリやリューターで加工が必要です。

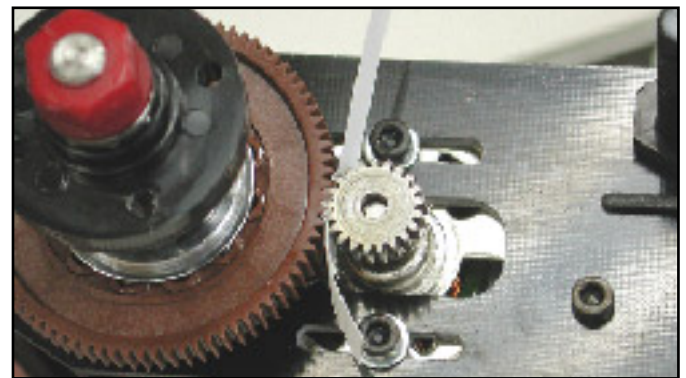


## ステップ 16

スチールピニオンギア (5551)をモーターシャフトに、イモネジと付属の小さいヘックスレンチ (0,050")で取り付けて下さい。ギアがスーパーギアと揃うように、そしてイモネジがモーターシャフトの平らなところにあたるように確認して下さい。

## ステップ 17

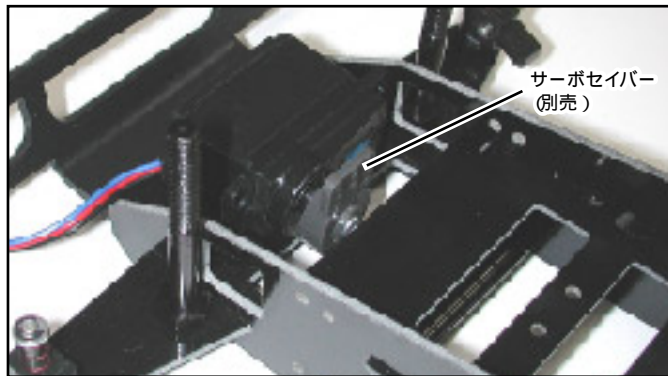
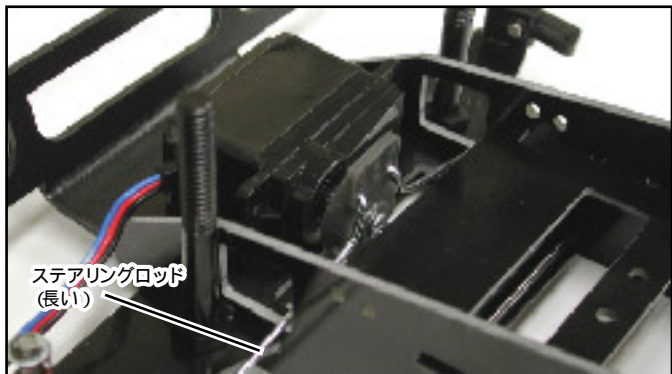
モーターをギアが噛み合うところまで後ろにスライドさせてください。ギアに少しの遊びがあることを確認して、モータースクリューをしっかりと締めて下さい。ギアを何回か回してもし必要であれば再度モーター位置を調整して下さい。ピニオンギアとスーパーギアの間には薄い紙をはさむと調整しやすいです。



R / C LEGENDSのキットは、現在流通しているどんなタイプのR / C用送受信機にも合うようデザインされていますが、正しいマウントの仕方はサーボのサイズやアンプのタイプによって異なります。送受信機は車に搭載する前についでスイッチを入れ、ステアリングサーボがセンターになっていることを確認して下さい。そして購入されたサーボセーバー (Kimbrough社のサーボセーバーは、ほとんどのブランドのサーボに合うようになっています。)を付けてからシャーシにサーボを取り付けて下さい。部品を車に取り付けるときは電源を抜いて下さい。送受信機についている取扱説明書を読むこともお忘れなく。

### ステップ 18

ステアリングサーボは、付属しているサーボテープで取り付ける前に、フロントアクスルプレートに乗せてみて据付位置を決めてください。サーボセーバーはステアリングリンケージ用の穴を通して一直線になるように、そしてサーボセーバーのアームはできるだけシャーシの真中に来るようにしてください。

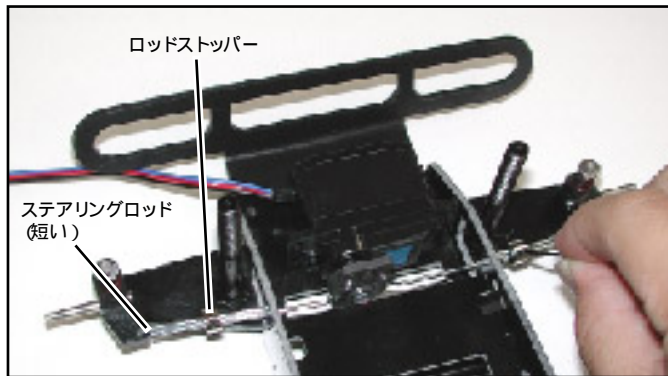
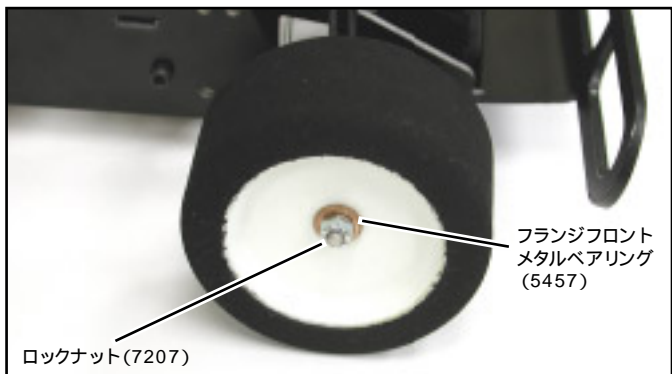


### ステップ 19

BAG 3L2 を開きます。長いステアリングロッドを写真のように曲げてサーボセーバーに付けてください。両面テープをサーボの底の分だけ切ります。ステアリングロッドをシャーシの穴に通しながら慎重にサーボを取付け位置までおろします。

### ステップ 20

短いほうのステアリングロッドをステアリングブロックの後方に付けて、そして長いロッドにロッドストッパーとイモネジで固定してください。サーボセーバーとホイールがまっすぐか確認してください。

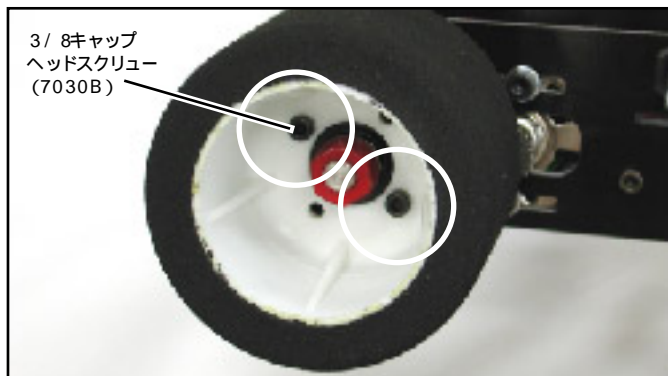
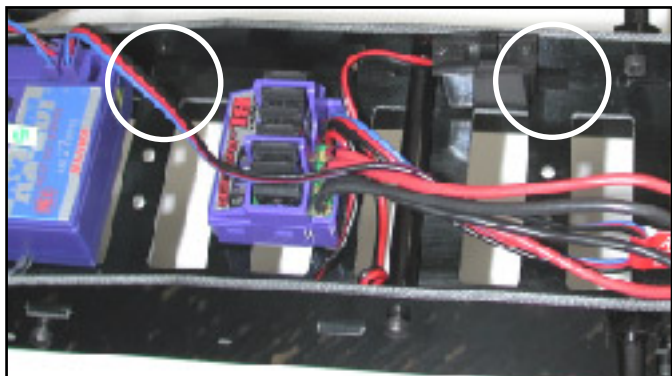


### ステップ 21

BAG 3L にはいっているフランジフロントメタルベアリング (5457)をそれぞれのフロントホイールのサイドに付けて下さい。次にフロントアクスルシャフトに油を注してフロントホイールを付け、ロックナット (7207)で締めすぎないように留めてください。

### ステップ 22

リアのホイールは BAG 2L1袋に入っていた4本の3/8キャップヘッドスクリュー (7030B)を使用します。片方のホイールに2本ずつ対角に取付け、締めてください。

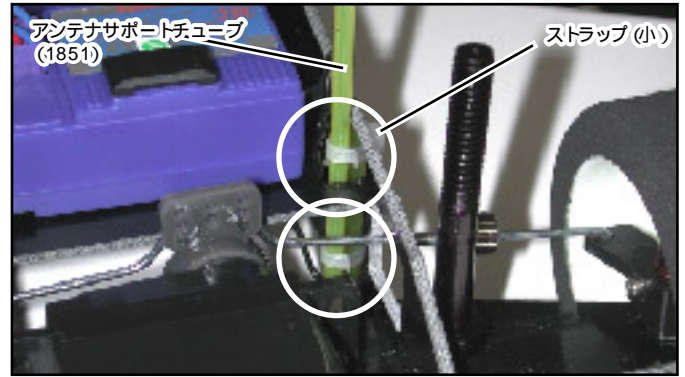
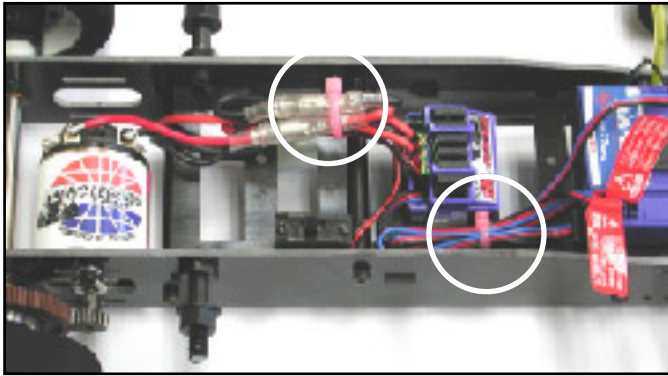


### ステップ 23

受信機とアンプをバッテリープレートの前方に両面テープで取付けてください。一般的には受信機は前方に、アンプは後方に取付けます。バッテリープレートのサイドにある溝は (丸印部分) バッテリーパック固定用のストラップを通す穴ですので覆わないようにしてください。

## ステップ 24

アンテナサポートチューブ (1851)はシャーシの左右どちらでも、2本の小さいストラップで付けられます。アンテナコードをアンテナパイプに通してストラップで2ヶ所結ぶか、又はテープ等で固定してください。

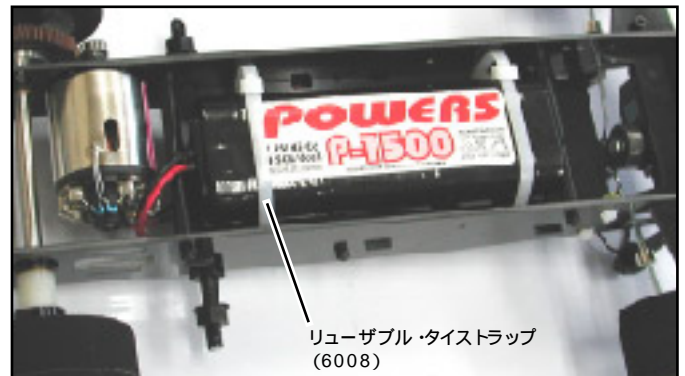


## ステップ 25

サーボや受信機から出ている余分な配線をストラップ等 (別売) でまとめてシャーシの下に垂れ下がらないようにして下さい。垂れ下がったままですと走行中に切れたりします。

## ステップ 26

アンプのワイヤーをモーターに繋いでバッテリーを所定の位置にリューザブル・タイストラップで留めて下さい。ステアリングやスロットルを調整し、正しく動いているかチェックして下さい。



## ステップ 27

ボディ (めいっぱいがんばってクールな塗装に挑戦！)



窓をマスキングしてボディの内側から塗ってください。塗装の際はボディの表面をビニールや新聞紙等で塗料が付かないように保護してください。塗装にはポリカ用の塗料を使って下さい。ほとんどのホビーショップで入手できます。ボディのカットは淵の線に沿って曲線はさみやカッターでカットします。又はカッターで線に沿って切込みを入れ、余分な部分を折って下さい。窓を切り取りたいときは同じようにして下さい。(カッターや切り取ったポリカで手を切らないように注意して下さい)ボディポストの穴はボディにマークされています。ボンネットの横の前の泥除けの上に2つ、後ろ泥除けの近くのドアパネル上に2つ、1/4インチドリルやリーマー等で穴を開けます。ボディポストにナットを付け、ボディが正しい高さになるようにナットを調整します。ボディを固定するにはナットやボディピンを使用します。付属しているデカールやその他のデカール等で好きなように飾ってみましょう。RCのボディは熱成型しておりますので通常ボディの下部は上部より薄くなっています。塗装した後、リアボディマウントの穴の周りを補強テープを貼ることお勧め致します。こうすることでボディマウントが塗装面をこすり落とすことを防ぎます。

### R / C LEGENDSに役立つヒント

#### 組立と準備

メタルベアリングをシャーシにつける時はまっすぐに押し込むように気をつけてください。LEGENDキットのフロントアクスル用ロックナットはきつくなっています。スタブアクスルをペンチで押さえてナットを何回か通してください。こうすることでアクスルがステアリングブロック側で回るのを防ぎます。

リアアクスルのならしはLEGENDカーにとって重要です。説明書どおりにリアアクスルを取り付けたら電気ドリルまたはモーターを取り付けてアクスルを10分から15分回転させてください。低粘度オイルをメタルベアリングに何分かおきに充分につけてください。こうすることでメタルベアリング内側とアクスルの表面を磨くことになります。両シャーシのリア側を少しひねって、自由に動かか確認してください。

### 予防的メンテナンス方法

あなたのLEGENDカーがいつもすばらしい走行を保つためには予防的メンテナンスが必要です。下記の事項を定期的にチェックしましょう。

フロント・リアのメタルベアリングをきれいにし、潤滑油を注す  
 モーターブッシングに軽く潤滑油を注す  
 ギアの噛み合わせをチェック - 必要であればモーターを調整  
 セットスクリュー・ハブとアクスルシャフトの遊びをチェック  
 フロントホイールが一直線になっているかチェック  
 キングピンのロックナットのしまり具合  
 デフをきれいにしデフレーブを注す。デフのきき具合をチェック  
 キングピンをきれいにし、潤滑油を注す

R / C LEGENDSカーを走らせるために初めて R / C LEGENDSを走らせてみる時は、多少の調整が必要です。デフギアは大変重要です。スタートする時僅かに滑るように(グリップの悪い路面には良い)、または少しきつめに調節して下さい。するとスムーズにスタートできます。

送信機の中にはステアリングの舵角を調整ができる物もあり、走行フィーリングを送信機側で調整することもできますが、一番大切なことは走行練習をすることです。車のはいてこない広いアスファルト路面などにパイロンを置いてコースを作ってみましょう。そして障害物の周りを走らせてみましょう。始めはゆっくり走らせましょう。障害を素早くかわすより、速度を落とす方が簡単です。フロントバンパーは、もし何か固いものに当たってもボディとシャーシを守るように作られてはいますが、あまり何度も強くだたると壊れてしまいます。

### 公認アクセサリ

ボディ及びレーシングドライバーの各商品は未塗装です。各ボディにレーシングドライバーは含まれません。



BL-2244 '34 F type COUPE



BL-2291 '37 F type SEDAN



BL-2701  
レーシングドライバー



BL-2267 '34 F type SEDAN



BL-2294 '37 F type COUPE



BL-5240  
キングピンブレース



BL-2270 '37 D type COUPE



BL-2295 '37 C type SEDAN

サーフボードは付属しません。



ECHO製  
R / C LEGENDS専用  
ハイパフォーマンス  
モーター



BL-2290 '37 C type COUPE



BL-2296 '40 F type COUPE



P-1500  
POWERS P-1500 ストレートパック

商品の詳細はパワーズのWEBサイトにてご覧いただけます。

メールでのご質問・お問合せは、こちらをお願いいたします。

[www.powers-international.com](http://www.powers-international.com)

[support@powers-international.com](mailto:support@powers-international.com)

本取扱説明書の文章、図等の著作権はパワーズにあり無断転用、使用等することは出来ません。  
 本商品は予告なくキットの仕様変更をする場合がありますので予めご了承下さい。  
 商品についてのお問い合わせは、パワーズジャパンまでお願いいたします。

総販売代理店



**Powers Japan**  
 〒340-0815 埼玉県八潮市八潮 7-29-16  
 tel 048-998-5438 fax 048-998-5455

